

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ

韓国初心者から…
～出会い、そして視野が広がる3年間～



長野県企画振興部国際交流課 大沢 美帆

クレア派遣で得た大きな財産は、色々な人との「出会い」と出会った人から学んだ「幅広い視野」でした。

日本を知ることができた東京1年間

東京本部では、企画調査課に所属し、全国の自治体からの海外調査依頼をはじめ海外事務所と調整する業務などを担当しました。東京本部で全国各地の自治体から派遣された仲間と出会い、それぞれの自治体をまわる“ふるさと旅”をして、その地域のことを教えてもらったり、ご縁で青森県のねぶた祭りに参加するなど、貴重な体験や今まで知らなかった日本各地のを知ることができました。その仲間たちとは、各海外事務所へ赴任した時や帰国した今でも定期的に集まり、近況報告や各自治体の取り組みなどの情報交換をしています。長野県に就職した時は考えもしていなかった出会いに感謝です。

初めての韓国

実は、クレアへ派遣になるまで韓国に行ったことがなく、韓国語もゼロからでした。そんな「超」韓国初心者だった私ですが、とても充実した2年間を過ごすことができました。ソウル事務所では、出張者のアテンドとして、韓国各地へ赴いたり、イベントブース出展やABCクッキングでの料理教室など、日本の自治体のPRに関



日韓交流おまつりブースで長野県 PR

わる仕事に多く携わりました。派遣元以外の自治体の皆さんと一緒にPRをするなかで、「この方法、長野県に戻ったら

マネしよう!」と思うほど、海外での魅力的な発信手法や戦略を学ぶことができました。また、拙い韓国語でも、一生懸命話しかけると、関心を持ってパンフレットや展示物を見てくれたことも、とても嬉しい体験でした。

一方でソウル事務所2年目の時、韓国でいわゆる「日本ボイコット」が起こりました。イベントなどもなかなかできない状況になるなど、大変なこともありましたが、実際には日本人だからと言って嫌な思いをすることは全くありませんでした。ソウル市街の城郭散策コースを日本人駐在員や韓国人の仲間と歩いていた時、同じく散策をしていた韓国人のアジヨシ（韓国語でおじさん）たちが「日本、大変だね。でも頑張ろう」と話しかけてくれました。日本ではかなり過激な報道がされていましたが、それだけが全てではない、広い視野で物事を見ることが大切であるということを感じた経験です。

待ち望んだ往来再開!

派遣後は国際交流課に配属され、韓国との交流やJETプログラムをはじめ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン事業、現在はウクライナ避難民の受入れ支援など、多岐にわたる業務に携わっています。コロナ禍でなかなか思うような交流事業ができない2年間でしたが、いよいよ海外との往来再開の兆しが見えてきており、延期となっていた県の友好協約締結先である韓国江原道（カンウォンド）やソウル特別市との周年事業に向け、派遣での経験、能力を活かし、取り組んでいきたいと思っています。

プロフィール・ほか

- 現所属：長野県企画振興部国際交流課（2020年～）
- クレア在籍の所属：
2017年～2018年 クレア本部総務部企画調査課
2018年～2020年 ソウル事務所